

令和8年度一般選抜日本大学文理学部A個別方式（理学系）出題意図
科目：数学

I.

- (1) 三角関数の加法定理を使いこなせる力を問う.
- (2) 2つの集合の包含関係を適正に理解する力を問う.
- (3) 不定形極限を適切に求めることができる力を問う.
- (4) 3次関数のグラフを適正にかける力を問う.

II.

- (1) 「かつ」「または」の論理演算子の理解と集合の元の個数を計算する力を問う.
- (2) パラメータを含む関数のグラフをかく力を問う.
- (3) ベクトル方程式の意味の理解し、使いこなせる力を問う.
- (3) 絶対値の扱いと、それを含む関数の定積分を求める力を問う.

III.

問題文を適正に読み取ることにより、確率、期待値を適正に求める力を問う.
条件付確率の理解と、それを適切に扱う力を問う.

IV. (数学①)

問題文から連立漸化式を立てる力を問う.
最後の小問は、不等式評価によって値を求める力を問う.

V. (数学②)

対数関数を含む関数についての微分と積分の計算力を問う.
最後の小問は、論証の力を問う.

以 上